

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床医学総論	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	富永 一郎
授 業 概 要					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 疾病の成因と病態生理、症状、身体所見、検査、診断、について学習する。 ・ 教科書及び配付資料に沿って講義を進める。 					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各疾患の病態生理や特徴について基本的知識を身に付ける。 ・ 診断、診療に役立つ臨床検査の意義を理解する。 					
回	項 目	学 習 内 容			担当教員
1	心臓・循環器疾患	心不全、不整脈、先天性心疾患、虚血性心疾患			富永 一郎
2	呼吸器疾患	感染性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺疾患			〃
3	消化器疾患	食道疾患、胃・十二指腸疾患、腸疾患			〃
4	肝・胆・膵疾患	ウイルス性肝炎、肝硬変、急性膵炎、胆嚢炎			〃
5	血液疾患	赤血球・白血球・血小板の病気			〃
6-7	内分泌性疾患	下垂体疾患、甲状腺・副甲状腺疾患、副腎疾患			福田 修
8	腎・尿路疾患	急性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全他			富永 一郎
9	脳・神経・筋肉疾患	脳血管障害、感染症、変性疾患、脱髄疾患			福田 修
10	運動器疾患	筋疾患、骨疾患			〃
11	アレルギー・免疫病・膠原病疾患	気管支喘息、全身性エリトマトーデス他			富永 一郎
12	代謝・栄養障害	栄養障害、糖代謝異常、脂質代謝異常他			〃
13	先天性疾患	ダウン症候群、ターナー症状群			山口 聖子
14	感染症	細菌・ウイルス・リケッチア・真菌感染症			富永 一郎
15	中毒	自然毒、人工毒			〃
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義内容が広範囲になるので予習、復習を十分に行うこと。 ・ 不明な点は必ずその場で解決すること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験（70%）及び小テスト（30%）により評価する。 ・ 講義終了時に小テストを実施する。 ・ 遅刻や欠席で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 ・ 再試験の評価方法：再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
解剖生理学Ⅰ、解剖生理学Ⅱ、解剖生理学Ⅲ、解剖生理学Ⅳ、解剖生理学Ⅴ、基礎医学実習、生化学Ⅰ、生化学Ⅱ、病理学、感染生体防御学、医学概論、医学検査学実習					
教 科 書、参 考 書					
〔教科書〕 最新臨床検査学講座 臨床医学総論、臨床検査医学総論 奈良信雄 他 医歯薬出版 臨床検査データブック2017-2018 医学書院 標準臨床検査学（臨床検査学総論） 矢富 裕 他 医学書院 臨床検査のガイドライン2015 検査値アプローチ、症候・疾病・検査の評価法 日本検査医学会・厚生労働省 配付資料					